

まちの将来像

名駅南は、名古屋駅前や柳橋、ささしまライブ24、納屋橋・堀川、さらには栄や大須など様々な特徴的な地区とつながる、都心全体の回遊性を向上する上で重要なエリアです。

リニア開業効果を享受し、都心の新たな拠点として、快適で魅力あふれるまちづくりを進めるためには、ユニバーサルデザインに配慮した、安全で、歩いて楽しい、居心地の良いウォークアブルな空間づくりとともに、クリエイティブな活動を支える寛容な環境づくり、さらには多様な主体がつながり、お互いの顔の見える関係づくりが大切です。

そこで名駅南では、地域での様々な活動を通して、人が人につながり、人が育ち、まちとつながり、まちをつくっていきます。さらに、まちとまちがつながることによって、ひと・まち・文化の交流を活性化し、創造性豊かなまちづくりを目指すこととし、まちの将来像を「つくってつながり、つながってつくる。『創造・交流タウン名駅南』」とします。このまちの将来像を実現するために、4つのまちづくりの方針に沿って、公民連携により取り組みを進めていきます。



(1) まちの将来像

つくってつながり、つながってつくる。
「創造・交流タウン名駅南」

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



(2) まちづくりの方針

【方針1】 賑わいがあふれるウォーカブルなまちづくり

賑わいがあふれる歩行者空間や居心地の良い滞在空間を創出し、ウォーカブルな（居心地が良く、歩きたくなる）空間への転換を進めます。

【方針2】 公民の投資により再生するまちづくり

ウォーカブルな取り組みを支える交通機能の強化や民間活力を活かした賑わいの強化などにより、まちを再生する取り組みを進めます。

【方針3】 新たな体験を誘発し様々な挑戦を支える クリエイティブなまちづくり

社会実験の場の提供やクリエイティブをテーマとしたイベント実施の促進等により、クリエイティブな活動を支え、発信していきます。

【方針4】 地域の力で地域を育てるまちづくり

住民・企業・学生などの多様な主体の顔が見える関係の構築や地域の個性を生かしたブランディングを促進し、名駅南ならではのまちづくりを進めます。